

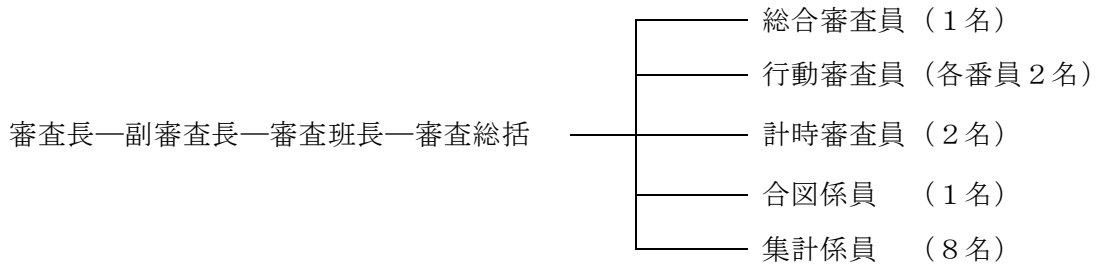
審查實施基準

審査実施基準

1 審査員の構成

- (1) 審査長 東京消防庁消防学校長
- (2) 副審査長 東京消防庁消防学校副校長
- (3) 審査班長 東京消防庁消防学校校務課教務係長
- (4) 審査総括 東京消防庁消防学校校務課係長
- (5) 審査員
 - ア 東京消防庁消防学校職員
 - イ 審査長が指定する消防職員

2 審査員の編成



3 審査の範囲

合図係員の「〇〇消防団、操法開始」の合図から「点検報告」が終了するまでとする。

4 審査の重点

- (1) 士気、規律の状況
- (2) 迅速な行動
- (3) 確実な操作
- (4) 消防用機械器具の取扱技術とその愛護
- (5) 安全管理

5 審査の基準及び方法

- (1) 採点方式
 - 減点加算方式とする。
- (2) 総合審査
 - 前4に基づき、不確実な事項等について減点する。
- (3) 番員別審査
 - 「消防団員ハンドブック (特別区消防団可搬ポンプ操法)」及び、「消防団員教育訓練必携」に基づき、不確実な事項等について減点する。

(4) 所要時間の採点要領

ア 所要基準時間

(ア) 可搬ポンプ操法

基本操法	5 5 秒
付加操法	4 5 秒

(イ) ポンプ車操法

第 1 線	6 0 秒
第 2 線	6 5 秒

イ 計時方法

(ア) 可搬ポンプ操法

- a 基本操法のホース延長操作と付加操法操作に区分して計時する。
- b 基本操法の所要時間は、指揮者の「操作始め」の号令に対する 4 番員の「よし」の「し」から、標的が倒れるまでを計時する。
- c 付加操法の所要時間は、指揮者の「ホース 1 本増加」の号令に対する 1 番員の「ホース 1 本増加」の「か」から、標的が倒れるまでを計時する。

(イ) ポンプ車操法

- a 第 1 線のホース延長操作、第 2 線延長操作に区分して計時する。
- b 第 1 線延長操作の所要時間は、指揮者の「操作始め」の号令による 4 番員の「よし」の合図の「し」から、標的が倒れるまでを計時する。
- c 第 2 線延長操作の所要時間は、指揮者の「第 2 線延長始め」の号令による 1 番員の「第 2 線延長始め」の復唱の「め」から、標的が倒れるまでを計時する。

ウ 所要時間に対する配点

- (ア) 基準時間より早い場合でも、加点は行わない。
 - (イ) 基準時間を超過した場合は、1 秒（小数点以下は四捨五入）につき可搬ポンプ操法は 1 点を、ポンプ車操法は 2 点を減点する。
- (5) ポンプ等の諸元性能、吸管結合部の違いによる審査上の配慮はしない。

6 順位の決定

- (1) 総減点の少ない隊を優位とする。
- (2) 同点の場合
 - ア 前(1)の減点数が同じ場合は、「総合審査と番員別審査」の減点数の合計が少ない隊を優位とする。
 - イ 前アの減点数が同じ場合は、「総合審査」の減点数の少ない隊を優位とする。
 - ウ 前イの減点数が同じ場合は、指揮者の「動作・行動の部」の減点数の少ない隊を優位とする。
 - エ 前ウの減点数が同じ場合は、「タイムの部」の実測時間（2 名の計時審査員の平均値 1 0 0 分の 1 秒）の早い隊を優位とする。

7 注意事項

- (1) 操法員が、審査員等と接触し、転倒又は器具の落下等により不具合が生じた場合においても操法を継続するものとする。
なお、審査についても継続し、この場合の審査上の優劣は認めない。
- (2) 円滑な進行を妨げる行動は審査対象としてとらえる。
- (3) 操法員及び操法員関係者は操法開始前に操法会場に立ち入れない。

8 失格

以下の場合、審査長の判断で、失格とすることができる。

- (1) 「東京都消防操法大会操法実施要領・操法審査要領」違反があった場合。
- (2) 操法実施中、操法員又は機械器具に不測の事故が発生し、操法の続行が不可能と認められた場合。

9 その他

審査に対する異議申し立て等については、一切受け付けない。

可搬ポンプ操法審査上の統一事項

共通事項

- 1 減点対象の行動等が審査表の項目にない場合は、その前後の欄で減点する。
- 2 待機線につく直前までの動作は、審査の対象外であるが、遅延行為は減点する。
- 3 機械器具については操法開始前に確認し、不備が認められた場合は是正させるものとし是正された場合は、減点しない。
- 4 服装については、待機線集合時に審査し、点検報告前に服装点検後の服装を再度審査する。
- 5 Tシャツ、手袋はチームで色等が統一されていれば減点しない。
- 6 ゼッケンの端末及び筒先の背負い紐は1箇所であればテープ留めしても良い。
- 7 2歩以上歩いた場合は減点する。(2番員のホース修正時及び4番員の収納時の余裕ホース伸張時は除く。)
- 8 号令、想定及び報告は、間違い(言い直しを含める)や忘れた場合は2点、不明瞭、声が小さい場合は1点減点する。
- 9 整列要領は、隊の中心(2番員と3番員の中心)を可搬ポンプの中央とズレがないかを確認する。(左右にズレたら2番員の減点とする。)
- 10 「支柱操作時期・要領」の減点には、操作時に折り膝に準じた姿勢を取らなかった場合も含む。
- 11 「吸管搬送要領」の減点には、搬送時の身体の向き不適も含む。
- 12 結合確認を確実にに行った場合は、放口・ホース・筒先の各結合部からの漏水は減点しない。
- 13 放水開始時、1番員がふらついた場合は、4番員の操作するポンプ計器が適正圧力であったとしても、1番員と4番員を安全管理の項目でも減点する。
- 14 減点基準
 - (1) 1点：基本動作及び、操作等が不明瞭である場合
 - (2) 2点：基本動作及び、操作等に誤りがあった場合又は、実施しなかった場合

指揮者

- 1 隊員の操作等の不備、または危険回避等のために行う指揮者の適切な指示、行動は減点しない。
- 2 監視要領は、対象の方向を向いているかを審査する。必要に応じて頭を動かし監視するものとし、必要以上の動きまたは形式的なものは減点する。
- 3 「移動要領」「停止要領」「方向変換要領」では、ふらつき、姿勢、節度も審査する。
- 4 「想定付与」「号令」では、欠落・誤り・不明確・言い直し等について審査する。

1番員

- 1 「ホース展張要領・状況」では、展張の方法に誤りがある場合、二重巻きホースが完全に伸びなかった場合、真っ直ぐ伸びなかった場合等に減点する。
- 2 「余裕ホースの作成要領・状況」では、水が乗っていない状態での形を審査する。
- 3 筒先保持姿勢は基本注水姿勢とし、ふらつき等危険行為があった場合は安全管理の項目でも減点する。

※ 基本注水姿勢とは、左手が筒先プレイパイプの上端、右手が筒先取手部分を右腰部に確実に保持した状態で筒先角度が約30度である。

4 注水はストレートとする。

また、筒先閉鎖（シャット）した後、ノズル先端から水が出た場合は、減点する。

5 排水後にノズルを立て、体側にノズルが接した状態においては、管そう付近のホース形状が定まらなくても減点しない。

2番員

1 「ホース展張要領・状況」では、展張の方法に誤りがある場合、二重巻きホースが完全に伸びなかった場合、真っ直ぐ伸びなかった場合等に減点する。

2 「ホース延長要領」では、ホースが完全に伸びなかった場合、結合部を引きずった場合等に減点する。

3 「結合要領」では、確実性、節度及び器具愛護等について審査する。

4 「放水はじめ」の伝達は、4番員が火点側を向き、基本の姿勢をとっている場合に限り、ポンプ引き手横部手前10メートルから右手を上げて伝達を開始してもよいが、10メートルよりも手前で伝達した場合は減点する。

なお、4番員が基本の姿勢をとっていない場合に伝達した場合は減点する。

5 ホースの修正は、ホースが折れている場合等で、修正が必要であるにもかかわらず行わなかった場合に減点する。ホースライン及び余裕ホースの形状を整えるための修正は不要である。

なお、ホースの修正に伴う歩行は減点しない。

3番員

1 吸管投入時における補助者の行動は、吸管投入後（吸管が着水した時点以降）の吸管浮上防止のみとし、それ以外（投入前に吸管に触れる、枕木の取り付け、控綱の修正等）について補助した場合は、3番員の該当項目を減点する。

2 吸管投入は、吸管の自重を利用し右手を水平に保ち控綱を滑らすように投入する。

3 控綱は、吸管投入後、吸管に沿って延長する。吸管の下に挟み込んでいる場合やキックができ修正しない場合は減点する。

4 控綱のポンプへの結着は、もやい結びまたは巻き結びに半結びをかけ、末端が概ね一握りないし一握り半の長さとする。

5 とび口の搬送は、柄の角度がおおむね45度で刃先が下を向くようにし、しっかり右手で確実に左脇に抱え込み、搬送時とび口をふらつかせない。これによらない場合は減点する。

6 付加操法時の筒先前進（筒先側余裕ホースの伸長）は、すり足と定めている。かけ足や歩行した場合は減点する。

4番員

1 操法開始前のポンプの状態（スロットルの位置、吸口覆冠の取り付け状態等）について確認し、収納時と同じ状態にする。

2 吸管搬送時は、4番員のみポンプ側（吸口付近）を見ながら搬送する。

- 3 吸管投入時の補助動作を確実に実施する。補助動作とは水槽側に右足を半歩踏み込み自重でさがる吸管を水槽側へ送りこむ動作である。これを行わない場合については減点する。
- 4 ポンプ側の余裕ホース（2メートル）が取れていない場合は、4番員が余裕ホースを取るものとするが、減点しない。（2番員の減点となる。）また、余裕ホースが取れている場合でも動作を実施する。
- 5 吸管スパナの固定ネジは、収納時に締め付ければよい。
- 6 予備送水時のポンプ圧力は0.2MPa以内とする。
- 7 送水圧力は、0.4MPa、ホース1本増加では、0.45MPaとするが、瞬間的に超えるのは減点しない。
- 8 筒先圧力は0.3MPaとする。

ポンプ車操法審査上の統一事項

共通事項

- 1 減点対象の行動等が審査表の項目にない場合は、その前後の欄で減点する。
- 2 待機位置につく直前までの動作は、審査の対象外であるが、遅延行為は減点する。
- 3 機械器具については操法開始前に確認し、不備が認められた場合は是正させるものとし、是正された場合は減点しない。
- 4 服装については、待機位置集合時に審査し、点検報告前に服装点検後の服装を再度審査する。
- 5 Tシャツ、手袋はチームで色等が統一されていれば減点しない。
- 6 ゼッケンの端末及び筒先の背負い紐は1箇所であればテープ留めしても良い。
- 7 2歩以上歩いた場合は減点する。(2・3番員のホース修正時及び4番員収納時の余裕ホース伸張時は除く。)
- 8 号令、想定及び報告は、間違い(言い直しを含める。)や忘れた場合は2点、不明瞭であったり、声が小さい場合は1点減点する。
- 9 結合確認を確実にを行った場合は、放口・ホース・筒先の各結合部からの漏水は減点しない。
- 10 第1線放水開始時、1番員がふらついた場合は、4番員の操作するポンプ計器が適正圧力であったとしても1番員と4番員を安全管理の項目で減点する。
また、第2線放水開始時、2番員がふらついた場合も、同様に2番員と4番員を安全管理の項目で減点する。
- 11 減点基準
 - (1) 1点：基本動作及び、操作等が不明瞭である場合
 - (2) 2点：基本動作及び、操作等に誤りがあった場合又は、実施しなかった場合

指揮者

- 1 隊員の操作等の不備、または危険回避等のために行う指揮者の適切な指示、行動は減点しない。
- 2 監視要領は対象の方向を向いているかを審査する。必要に応じて頭を動かし監視するものとし、必要以上の動きまたは形式的なものは減点する。
- 3 「移動要領」「停止要領」「方向変換要領」では、ふらつき、姿勢、節度も審査する。
- 4 「想定付与」「号令」では欠落・誤り・不明確・言い直し等について審査する。

1番員

- 1 「ホースの展張要領」は、展張の方法に誤りがある場合、二重巻ホースが完全に伸びなかった場合、真っ直ぐ伸びなかった場合等に減点する。
- 2 「ホース延長要領」は、ホースが完全に伸びなかった場合、結合部を引きずった場合等に減点する。
- 3 「結合要領」では、確実性、節度及び器具愛護等について審査する。
- 4 「余裕ホースの作成要領・形状」では、水が乗る前の状態で審査し、余裕ホースの形・大きさ・重なりやねじれの有無について審査する。

- 5 筒先保持姿勢は基本注水姿勢とし、ふらつき等危険行為があった場合は安全管理の項目でも減点する。
※ 基本注水姿勢とは、左手が筒先プレイパイプの上端、右手が筒先取手部分を右腰部に確実に保持した状態で筒先角度が約30度である。
- 6 注水はストレートとする。
また、筒先閉鎖（シャット）した後、ノズル先端から水が出た場合は、減点する。
- 7 排水後ノズルを立て、体側にノズルが接した状態においては、管そう付近のホース形状が定まらなくても減点しない。

2番員

- 1 「ホースの展張要領」は、展張の方法に誤りがある場合、二重巻ホースが完全に伸びなかった場合、真っ直ぐ伸びなかった場合等に減点する。
- 2 「ホース延長要領」は、ホースが完全に伸びなかった場合、結合部を引きずった場合等に減点する。
- 3 「結合要領」では、確実性、節度及び器具愛護等について審査する。
- 4 「放水はじめ」の伝達は、4番員が火点側を向き、基本の姿勢をとっている場合に限り、ポンプ車手前10メートルから右手を上げて伝達を開始してもよい。（10メートルよりも手前で伝達した場合は減点する。）
なお、4番員が基本の姿勢をとっていない場合に伝達した場合は減点とし、基本の姿勢をとった時点をもって伝達を開始してよい。
- 5 ホースの修正は、ホースが折れている場合等で、修正が必要であるにもかかわらず行わなかった場合に減点する。ホースライン及び余裕ホースの形状を整えるための修正は不要である。
なお、ホースの修正に伴う歩行は減点しない。
- 6 「余裕ホースの作成要領・形状」では、水が乗る前の状態で審査し、余裕ホースの形・大きさ・重なりやねじれの有無について審査する。
- 7 筒先保持姿勢は基本注水姿勢とし、ふらつき等危険行為があった場合は安全管理の項目でも減点する。
※ 基本注水姿勢とは、左手が筒先プレイパイプの上端、右手が筒先取手部分を右腰部に確実に保持した状態で筒先角度が約30度である。
- 8 注水はストレートとする。
また、筒先閉鎖（シャット）した後、ノズル先端から水が出た場合は、減点する。
- 9 排水後ノズルを立て、体側にノズルが接した状態においては、管そう付近のホース形状が定まらなくても減点しない。

3番員

- 1 「吸管伸長」では、延長時、搬送時に地面に触れた場合、一回り以上のねじれがある場合及びまっすぐに延長していない場合は減点する。

- 2 吸管投入時における補助者の行動は、吸管投入後（吸管が着水した時点以降）の吸管浮上防止のみとし、それ以外（投入前に吸管に触れる、枕木の取り付け、控綱の修正等）について補助した場合は、3番員の該当項目を減点する。
- 3 吸管投入は吸管の自重を利用し右手を水平に保ち控綱を滑らすように投入する。
- 4 控綱は投入後吸管に沿って延長する。吸管の下に挟み込んでいる場合やキックができ修正しない場合は減点する。
- 5 控綱のポンプ車への結着は、もやい結びに半結びをかけ、末端が概ね一握りないし一握り半の長さとする。
- 6 とび口の搬送は、柄の角度がおおむね45度で刃先が下を向くようにし、しっかり右手で確実に左脇に抱え込み、搬送時とび口をふら付かせない。これによらない場合は減点する。
- 7 ホースの展張要領は、展張の方法に誤りがある場合、二重巻ホースが完全に伸びなかった場合、真っ直ぐ伸びなかった場合等に減点する。
- 8 ホース延長要領は、ホースが完全に伸びなかった場合、結合部を引きずった場合等に減点する。
- 9 「結合要領」では、確実性、節度及び器具愛護等について審査する。
- 10 「第2線放水はじめ」の伝達は、4番員が火点側を向き、基本の姿勢をとっている場合に限り、ポンプ車手前10メートルから右手を上げて伝達を開始してもよい。（10メートルよりも手前で伝達した場合は減点する。）なお、4番員が基本の姿勢をとっていない場合は、基本の姿勢をとった時点をもって伝達を開始する。
- 11 ホースの修正は、ホースが折れている場合等で、修正が必要であるにもかかわらず行わなかった場合に減点する。ホースライン及び余裕ホースの形状を整えるための修正は不要である。
なお、ホースの修正に伴う歩行は減点しない。

4番員

- 1 「吸管伸長」では、延長時、搬送時に地面に触れた場合、一回り以上のねじれがある場合及びまっすぐに延長していない場合は減点する。
- 2 吸管投入時の補助動作を確実に実施する。補助動作とは水槽側に右足を半歩踏み込み自重でさがる吸管を水槽側へ送りこむ動作である。これを行わない場合については減点する。
- 3 ポンプ側の余裕ホースが取れていない場合は、4番員が余裕ホースを取るものとするが減点しない。（2番員の減点となる。）第2線についても同様とする。（3番員の減点となる。）また、余裕ホースが取れている場合でも動作を実施する。
- 4 送水圧力は0.4MPaとするが、瞬間的に超えるのは減点しない。
- 5 筒先圧力は0.3MPaとする。

可搬ポンプ^o操法^o審査表

総合審査表（可搬ポンプ操法）

団名	消 防 団	審査員 氏 名		減 点 合 計	点
----	-------	------------	--	------------	---

項 目	減 点
指 揮 全 般	0 1 2 3 4 5
連 携 要 領	0 1 2 3 4 5
士 気 ・ 規 律	0 1 2 3 4 5
迅 速 な 行 動 ・ 動 作	0 1 2 3 4 5
確 実 な 操 作 ・ 習 熟 度	0 1 2 3 4 5
機 械 器 具 の 愛 護	0 1 2 3 4 5
安 全 管 理	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

- ※ 減点「0」とは操法の練度が高く、各項目を確実に実施している時に付す点数である。
- ※ 減点「5」とは諸動作に不確実な点が多く、練度が著しく低い場合に付す点数である。
- ※ 安全管理の減点「10」とは「操法中止」には達しないが、重大事故発生危険が大であった場合に付す点数である。

可 搬 ポ ン プ 操 法 審 査 表 (指 揮 者)

団名	消 防 団	審 査 員 氏 名		減 点 合 計	点
減 点 事 項			減 点 事 項		
待 機	位置姿勢等（服装含む）	1・2	服 装 点 検 時 機 ・ 要 領		1・2
集 合 要 領	集合指揮位置移動要領	1・2	集 合 指 揮 位 置 ・ 移 動 要 領 全 般		1・2
	「集まれ・番号」号令	1・2	「 点 検 報 告 」 号 令		1・2
開 始 報 告	報告位置移動要領全般	1・2	各隊員の報告に対する「よし」呼唱		1・2
	敬礼・報告要領全般	1・2	姿 勢 等 全 般		1・2
想 定 付 与 全 般		1・2	安 全 管 理		1・3・5
	「定位につけ」号令・隊員監視全般	1・2	転 倒	5×	
	「操作始め」号令・要領	1・2			
	指揮に便利な位置への移動時機・要領	1・2			
ホース延長	指揮に便利な位置	1・2			
	各隊員の監視要領	1・2			
	火点への移動時機及び要領	1・2			
	火点指揮位置・姿勢等全般	1・2			
ホース1本増加	火点監視・方向変換要領全般	1・2			
	「ホース1本増加」号令・姿勢・要領	1・2			
	各隊員の監視要領	1・2			
	火点への移動時機及び要領	1・2			
	火点指揮位置・姿勢等全般	1・2			
放水中止	火点監視・方向変換要領全般	1・2			
	「放水止め」号令・要領	1・2			
	鎮圧状況監視時機・要領	1・2			
収	方向変換時機・要領全般	1・2			
	「収め」号令・要領	1・2			
	指揮に便利な位置への移動時期・要領	1・2			
納	指揮に便利な位置	1・2			
	各隊員の監視要領	1・2			

可搬ポンプ操法審査表（1番員）

団名	消 防 団	審査員氏名	減 点 合 計	点		
減 点 事 項			減 点 事 項			
待 機	位置姿勢等（服装含む）	1・2	付 加 操 法	「よし」合図・筒先離脱要領全般	1・2	
集合要領	集合位置移動要領	1・2		後退要領・位置	1・2	
	番号「1」呼唱	1・2		筒先結合要領	1・2	
定位部署	移動要領全般	1・2		余裕ホースをとる要領	1・2	
	「よし」合図、姿勢・ポンプ水平状況	1・2		火点進入時機・位置	1・2	
	引き手保持姿勢	1・2		余裕ホースの作成要領・状況	1・2	
吸 管 伸 長	引き手外側への移動時機・要領	1・2		基本注水姿勢	1・2	
	ポンプ水平状況・「よし」合図	1・2		放水 量 不 適	1・3・5	
	吸 管 受 領 要 領	1・2		放 水 中 止	ノズル操作要領	1・2
	吸管搬送要領・位置・状況	1・2			「放水止め」復唱	1・2
ホ ー ス 一 人 延 長	筒先積載位置移動要領	1・2	収 納	排水操作時機・要領	1・2	
	筒先背負い・ホース担ぐ要領	1・2		「よし」呼唱・筒先直立要領	1・2	
	第3ホース搬送要領・位置	1・2		筒先離脱要領	1・2	
	第3ホース展張要領・状況	1・2	点 検 ・ 報 告	筒先背負い要領	1・2	
	筒先結合要領	1・2		移動・筒先収納要領全般	1・2	
余裕ホースをとる要領	1・2	集合位置移動要領		1・2		
「放水始め」合図・時機	1・2	服装点検要領		1・2		
延 長	火点前停止要領・位置	1・2	安 全 管 理	整頓要領（姿勢等全般）	1・2	
	余裕ホースの作成要領・状況	1・2		「1番員異常なし」報告・要領	1・2	
付 加 操 法	前進要領・位置	1・2	転 倒	全	1・3・5	
	ノズル操作要領	1・2		5 ×		
	基本注水姿勢	1・2	器 具 愛 護	踏みつけ	2 ×	
	放水 量 不 適	1・3・5		蹴飛ばし	2 ×	
「ホース1本増加」復唱	1・2	投げつけ		2 ×		
	前 進 要 領	1・2		落下	5 ×	
			引きずり	2 ×		

可搬ポンプ操法審査表（2番員）

団名	消 防 団	審査員氏名		減 点 合 計	点
減 点 事 項			減 点 事 項		
待 機	位置姿勢等（服装含む）	1・2	付 加 操 法	「よし」合図・伝達経路	1・2
集合要領	集合位置移動要領	1・2		「ホース1本増加」伝達位置・要領	1・2
	番号「2」呼唱	1・2		増加ホース受領要領	1・2
定位部署	移動要領全般	1・2		増加ホース搬送要領	1・2
	支柱操作時機・要領「よし」合図	1・2		増加ホース展張要領・状況	1・2
	搬 送 姿 勢	1・2		増加ホース結合要領	1・2
吸 管 伸 長	支柱操作時機・要領「よし」合図	1・2		ホ ー ス 修 正 要 領	1・2
	吸 管 取 り 出 し 要 領	1・2		「よし」合図～注水補助全般	1・2
	吸管搬送要領・位置・状況	1・2		放水中止	「よし」合図・伝達経路
ホ ー ス	ホース積載位置移動要領	1・2			「放水止め」伝達位置・要領
	第1ホース展張要領・状況	1・2		「伝達終わり」合図・位置・姿勢	1・2
	余裕ホースの作成要領・状況	1・2	収 納 ・ 告 点 検 ・ 報	移 動 要 領 全 般	1・2
	放口への結合・確認	1・2		集 合 位 置 移 動 要 領	1・2
	ホース積載位置移動要領	1・2		服 装 点 検 要 領	1・2
	第2ホース担ぐ要領・第1ホース延長要領	1・2		整 頓 要 領（姿勢等全般）	1・2
	第2ホース展張要領・状況	1・2		「2番員異常なし」報告・要領	1・2
第2結合の結合要領	1・2	安 全 管 理		1・3・5	
第2ホース延長要領	1・2	転 倒	5 ×		
延 長	第3結合の結合要領	1・2	器 具 愛 護	踏みつけ	2 ×
	姿勢を正す位置・姿勢	1・2		蹴飛ばし	2 ×
	「放水はじめ」復唱	1・2		投げつけ	2 ×
	「放水はじめ」伝達位置・要領全般	1・2		落 下	5 ×
	伝 達 経 路	1・2		引きずり	2 ×
	ホ ー ス 修 正 要 領	1・2			
	「伝達終わり」合図・位置・補助姿勢	1・2			

可 搬 ポ ン プ 操 法 審 査 表 (3 番 員)

団名	消 防 団	審 査 員 氏 名		減 点 合 計	点		
減 点 事 項			減 点 事 項				
待 機	位置姿勢等 (服装含む)	1・2	付	結 合 部 確 保 状 況	1・2		
集 合 要 領	集 合 位 置 移 動 要 領	1・2	加 操 法	と び 口 に 至 る 要 領	1・2		
	番 号 「 3 」 呼 唱	1・2		と び 口 搬 送 要 領 全 般	1・2		
定 位 部 署	移 動 要 領 全 般	1・2		と び 口 停 止 位 置 ・ 姿 勢	1・2		
	支 柱 操 作 時 機 ・ 要 領 「 よ し 」 合 図	1・2		放 水 中 止	と び 口 を 立 て る 時 機 ・ 要 領 ・ 姿 勢	1・2	
	搬 送 姿 勢	1・2	と び 口 の 搬 送 ・ 収 納 要 領 全 般		1・2		
吸 管 伸 長	支 柱 操 作 時 機 ・ 要 領 「 よ し 」 合 図	1・2	点 検 ・ 報 告	集 合 位 置 移 動 要 領	1・2		
	吸 管 取 り 出 し 要 領	1・2		服 装 点 検 要 領	1・2		
	吸 管 搬 送 要 領 ・ 位 置 ・ 状 況	1・2		整 頓 要 領 (姿 勢 等 全 般)	1・2		
吸 管	吸 管 結 合 補 助 要 領 ・ 位 置 ・ 姿 勢	1・2		安 全 管 理	「 3 番 員 異 常 な し 」 報 告 ・ 要 領	1・2	
	ス ト レ ー ナ ー 部 移 動 位 置 ・ 要 領	1・2	1・3・5				
投 入	吸 管 搬 送 時 機 ・ 要 領	1・2	転 倒		5 ×		
	控 綱 を 解 く 要 領	1・2	器 具 愛 護		踏 み つ け	2 ×	
	「 よ し 」 合 図 ・ 投 入 要 領 全 般	1・2			蹴 飛 ば し	2 ×	
	控 綱 結 着 要 領 ・ 位 置 ・ 状 況	1・2			投 げ つ け	2 ×	
	枕 木 搬 送 ・ 取 り 付 け 要 領	1・2			落 下	5 ×	
と び 口 搬 送 要 領 全 般	1・2	引 き ず り		2 ×			
	と び 口 停 止 位 置 ・ 姿 勢	1・2					
付 加 操 法	注 水 補 助 位 置 移 動 要 領 全 般	1・2					
	前 進 要 領	1・2					
	ホ ー ス の 左 側 移 動 時 機 ・ 要 領	1・2					
	筒 先 の 離 脱 補 助 要 領	1・2					
	増 加 ホ ー ス 結 合 要 領	1・2					

可 搬 ポ ン プ 操 法 審 査 表 (4 番 員)

団名	消 防 団	審 査 員 氏 名		減 点 合 計	点
減 点 事 項			減 点 事 項		
待 機	位置姿勢等（服装含む）	1・2	付 加 操 法	増加ホース②への受け渡し要領	1・2
集合要領	集合位置移動要領	1・2		送水停止要領・状況	1・3
	番号「4」呼唱	1・2		送水時機・要領・状況	1・3
定位部署	移動要領全般	1・2	放 水 中 止	「放水止め」復唱	1・2
	支柱操作時機・要領「よし」合図	1・2		ポンプ操作要領・状況	1・3
	引き手保持姿勢	1・2		火点正対、基本姿勢	1・2
吸 管 伸 長	「よし」合図、支柱操作要領・「よし」合図	1・2	収 納	エンジン停止時機、要領	1・2
	①に吸管を渡す要領	1・2		燃料コック閉鎖	1・2
	吸管結合部付近保持要領	1・2		第1結合部離脱・ホース伸長要領	1・2
	「よし」合図、吸管搬送状況「よし」合図	1・2		覆冠取り付け	1・2
吸 管 投 入	覆冠離脱要領	1・2	点 検 ・ 報 告	集合位置移動要領	1・2
	吸管結合要領	1・2		服装点検要領	1・2
	吸管締付け状況	1・2		整頓要領（姿勢等全般）	1・2
	「よし」合図吸管中央部移動要領	1・2		「4番員異常なし」報告・要領	1・2
	吸管保持要領・「よし」合図	1・2	安 全 管 理 1・3・5		
	移動要領・投入補助要領	1・2	転 倒	5 ×	
揚 水 操 作	ポンプ計器側への移動要領・位置	1・2	器 具 愛 護	踏みつけ	2 ×
	送水準備（ポンプ操作）要領全般	1・2		蹴飛ばし	2 ×
	余裕ホース修正要領・状況	1・2		投げつけ	2 ×
送 水	「放水始め」復唱・状況	1・2	落 水	落 下	5 ×
	送水操作要領・状況	1・3		引きずり	2 ×
付 加 操 法	「ホース1本増加」復唱・状況	1・2	落 水	10 ×	
	増加ホース積載位置移動要領・担ぐ要領	1・2	エ ン ス ト	10 ×	

可搬ポンプ操法タイム表

消 防 団

タイム審査員氏名	第 1 測定者			
	第 2 測定者			
種 別	基準タイム	測定タイム		平均タイム
基 本 操 法	5 5 秒	第 1 測定者	秒	秒
		第 2 測定者	秒	
付 加 操 法	4 5 秒	第 1 測定者	秒	秒
		第 2 測定者	秒	

倒的タイム オーバータイム

基本操法	秒	基本操法	秒	合 計	秒
付加操法	秒	付加操法	秒		

減点（オーバータイム×1点）

点

※注意

- 1 測定タイムは小数点第2位までを測定し、記入する。
- 2 平均タイムは二人の測定タイムの合計を、2で割って小数点第2位を四捨五入した数値を記入する。
- 3 倒的タイム欄には、平均タイムの小数点第1位を四捨五入した数値を記入する。
- 4 オーバータイムは、基準タイムと倒的タイムの差を記入する。倒的タイムが基準タイム内の場合、オーバータイムは0秒とする。
- 5 合計欄には、基本操法と付加操法の合計を記入する。
- 6 減点欄には、合計タイム×1点の数値を記入する。

測定基準

- 1 基本操法は、指揮者の「操作始め」の号令による4番員の「よし」の「し」から標的が倒れた時までとする。
- 2 付加操法は、指揮者の「ホース1本増加」の号令による1番員の「ホース1本増加」の復唱の「か」から、標的が倒れた時までとする。

ポンプ車操法審査表

総合審査表（ポンプ車操法の部）

団名	消 防 団	審査員 氏 名		減 点 合 計	点
----	-------	------------	--	------------	---

項 目	減 点
指 揮 全 般	0 1 2 3 4 5
連 携 要 領	0 1 2 3 4 5
士 気 ・ 規 律	0 1 2 3 4 5
迅 速 な 行 動 ・ 動 作	0 1 2 3 4 5
確 実 な 操 作 ・ 習 熟 度	0 1 2 3 4 5
機 械 器 具 の 愛 護	0 1 2 3 4 5
安 全 管 理	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

減点「0」とは操法の練度が高く、各項目を確実に実施している時に付す点数である。

※ 減点「5」とは諸動作に不確実な点が多く、練度が著しく低い場合に付す点数である。

※ 安全管理の減点「10」とは「操法中止」には達しないが、重大事故発生危険が大であった場合に付す点数である。

ポンプ車操法審査表（指揮者）

団名		消防団		審査員氏名	減点合計	点
減点事項			減点事項			
待機	位置・姿勢等（服装含む）	1・2	収納	方向変換時機・要領全般	1・2	
集合要領	集合指揮位置移動要領	1・2		「おさめ」号令	1・2	
	「集まれ・番号」号令	1・2		操作指揮位置移動時機・要領全般	1・2	
開始報告	報告位置移動要領	1・2		操作指揮位置状況	1・2	
	敬礼・報告要領全般	1・2		各隊員の監視要領全般	1・2	
想定付与		1・2		服装点検時機・要領全般	1・2	
「乗車」号令・各隊員の監視時機・要領		1・2		集合指揮位置移動要領全般	1・2	
乗車要領全般		1・2	「点検報告」号令		1・2	
第1線延長	「操作始め」号令・要領	1・2	各隊員の報告に対する「よし」呼唱		1・2	
	④呼唱前行動開始	2	姿勢等全般		1・2	
	下車・操作指揮位置移動要領全般	1・2	安全管理		1・3・5	
	操作指揮位置状況	1・2	転倒	5×		
	各隊員の監視要領全般	1・2				
	火点指揮位置移動時機・要領全般	1・2				
	火点指揮位置	1・2				
	火点監視・方向変換要領全般	1・2				
	各隊員の監視要領全般	1・3				
	方向変換時機・要領全般	1・2				
第2線延長	「第2線延長始め」号令等全	1・2				
	各隊員の監視要領全般	1・2				
	方向変換時機・要領全般	1・2				
「第1線・第2線放水止め」号令		1・2				
各隊員の監視要領全般		1・2				

ポンプ車操法審査表（1番員）

団名		消防団		審査員氏名			減点合計	点
減点事項				減点事項				
待機	位置・姿勢等（服装含む）	1・2		ノズル操作要領				1・2
集合要領	集合位置移動要領	1・2	放水中止	「第1線放水止め」復唱				1・2
	整頓要領全般	1・2		筒先保持姿勢				1・3
	番号「1」呼唱	1・2		排水要領全般				1・2
	姿勢等全般	1・2		「よし」呼唱・時機				1・2
乗車要領全般		1・2		筒先直立要領				1・2
第1線延長	④呼唱前行動開始	2	収納	筒先離脱・背負い要領				1・2
	下車・管そう積載位置移動要領	1・2		筒先搬送・収納要領				1・2
	管そう・ホース搬送要領	1・2	点検報告	服装点検要領				1・2
	停止位置・要領	1・2		待機・集合位置移動整頓要領				1・2
	第3ホース展張要領・形状	1・2		「1番員異常なし」呼唱				1・2
	筒先結合要領	1・2		姿勢等全般				1・2
	筒先を構える要領・姿勢	1・2	安全	管	理			1・3・5
	「放水始め」号令・時機	1・2	転倒	5×				
	余裕ホース作成要領	1・2	器具愛護	踏みつけ	2×			
	ホースの形状	1・2		蹴飛ばし	2×			
火点進入・停止要領	1・2	投げつけ		2×				
ノズル操作要領	1・2	落下		5×				
筒先保持姿勢	1・3	引きずり		2×				
注水方向（姿勢）変換要領	1・2							
	放水量不適	1・3・5						
第2線長	「第2線延長始め」復唱	1・2						
	筒先保持姿勢	1・2						

ポンプ車操法審査表（2番員）

団名			消防団			審査員氏名	減点合計	点
減点事項			減点事項			減点事項		
待機	位置・姿勢等（服装含む）	1・2	第2線	第3ホース展張要領・形状	1・2	延長	放水	中
集合要領	集合位置移動要領	1・2		筒先結合要領	1・2			
	整頓要領全般	1・2		筒先を構える要領・姿勢	1・2			
	番号「2」呼唱	1・2		「第2線放水始め」号令・時機	1・2			
	姿勢等全般	1・2		余裕ホース作成要領	1・2			
乗車要領全般		1・2		余裕ホースの形状	1・2			
第1線延長	④呼唱前行動開始	2		火点進入・停止要領	1・2			
	下車・ホース積載位置移動要領	1・2		ノズル操作要領	1・2			
	ホース取り出し・移動要領	1・2		筒先保持姿勢	1・3			
	第1ホース展張要領・状況	1・2		放水量不適	1・3・5			
	結合要領・確認・余裕ホース状況	1・2	ノズル操作要領	1・2				
	第2ホース搬送要領	1・2	「第2線放水止め」復唱	1・2				
	第1ホース延長要領・状況	1・2	筒先保持姿勢	1・3				
	第2ホース展張要領・状況	1・2	排水要領全般	1・2				
	第2ホース結合要領・確認	1・2	「よし」呼唱・時機	1・2				
	第2ホース延長要領・状況	1・2	筒先直立要領	1・2				
	第3ホース結合要領・確認	1・2	筒先離脱・背負い要領	1・2				
	直立要領・姿勢・位置	1・2	筒先搬送・収納要領	1・2				
	「放水始め」復唱	1・2	服装点検要領	1・2				
	「放水始め」号令・位置・姿勢	1・2	待機・集合位置移動整頓要領	1・2				
ホースの修正等	1・2	「2番員異常なし」呼唱	1・2					
「伝達終り」呼唱・位置・筒先補助	1・3	姿勢等全般	1・2					
注水方向（姿勢）変換要領		1・2	安全管理			1・3・5		
第2線延長	「よし」呼唱	1・2	転倒	5×				
	「第2線延長」号令・位置・姿勢	1・2	踏みつけ	2×				
	筒先受領・背負い要領	1・2	蹴飛ばし	2×				
	第3ホース取り出し・担ぐ要領	1・2	投げつけ	2×				
	ホース搬送要領	1・2	落下	5×				
	停止位置・要領	1・2	引きずり	2×				

ポンプ車操法審査表（3番員）

団名			消防団			審査員氏名		減点合計		点		
減点事項					減点事項							
待機	位置・姿勢等（服装含む）		1・2		第2線延長	「第2線放水始め」号令・位置・姿勢		1・2				
	集合位置移動要領		1・2			ホースの修正等		1・2				
集合要領		整頓要領全般		1・2		「伝達終了」呼唱・位置		1・2				
		番号「3」呼唱		1・2		とび口を構える要領・姿勢		1・2				
		姿勢等全般		1・2		「よし」呼唱		1・2				
乗車要領全般			1・2		放水中止	「第1線・第2線放水止め」号令		1・2				
吸水処置	④呼唱前行動開始		2			「伝達終了」呼唱・位置		1・2				
	下車・吸管積載位置移動要領		1・2			とび口直立要領		1・2				
	吸管止め金具開放・吸管受領要領		1・2		収納	とび口搬送・収納要領		1・2				
	吸管延長・搬送要領		1・2		点検報告	服装点検要領		1・2				
	控網解絡・保持状況		1・2			待機・集合位置移動整頓要領		1・2				
	「よし」呼唱・時機		1・2			「3番員異常なし」呼唱		1・2				
	投入要領全般		1・2		姿勢等全般		1・2					
	控網結着要領・状況		1・2		安全管		理		1・3・5			
	枕木搬送・吸管への取付け要領		1・2		転倒	5×						
とび口搬送全般・破壊地点部署要領			1・2		器具愛護	踏みつけ	2×					
注水方向変換（姿勢）変換要領全般			1・3			蹴飛ばし	2×					
「よし」呼唱		1・2		投げつけ		2×						
ホース積載位置移動要領		1・2		落下		5×						
第2線延長	ホース取り出し・移動要領		1・2		引きずり	2×						
	第1ホース展張要領・状況		1・2									
	結合要領・確認・余裕ホース		1・2									
	第2ホース搬送要領		1・2									
	第1ホース延長要領・状況		1・2									
	第2ホース展張要領・状況		1・2									
	第2結合要領・確認状況		1・2									
	第2ホース延長要領・状況		1・2									
	第3結合要領・確認状況		1・2									
直立要領・姿勢・位置・復唱		1・2										

ポンプ車操法審査表（４番員）

団名			消防団			審査員氏名		減点合計		点		
減点事項						減点事項						
待機	位置・姿勢等（服装含む）		1・2		第2線延長	「第2線放水始め」復唱・姿勢		1・2				
集合要領	集合位置移動要領		1・2			放口開放・スロットル操作要領		1・2				
	整頓要領全般		1・2			放水圧力・適正圧力不適		1・3				
	番号「4」呼唱		1・2			第1放口移動時機・計器確認		1・2				
	姿勢等全般		1・2			放水中止時（適正圧力）スロットル操作		1・2				
「よし」呼唱・乗車要領全般			1・2		放水中止	「第1線・第2線放水止め」復唱・姿勢		1・2				
「エンジンよし」呼唱			1・2			スロットル・放口閉止操作要領		1・2				
ブレーキ等操作全般			1・2			第2放口移動・放口閉鎖要領		1・2				
「よし」呼唱			1・2			第1放口移動時機・要領		1・2				
ポンプレバー操作・「ポンプよし」呼唱			1・2			収納扉等閉鎖時機・要領		1・2				
吸水処置	下車・吸管積載位置移動要領		1・2		収納	乗車・「エンジン停止」呼唱・下車要領		1・2				
	吸管止め金具開放・吸管を渡す要領		1・2			第1放口離脱余裕ホース伸長要領		1・2				
	吸管延長要領		1・2			第2放口離脱余裕ホース伸長要領		1・2				
	「よし」呼唱			1・2		点検報告	吸口閉鎖要領		1・2			
	吸管搬送要領			1・2			服装点検要領		1・2			
	投入補助要領			1・2			待機・集合位置移動整頓要領		1・2			
	吸口を開く要領			1・2			「4番員異常なし」呼唱		1・2			
	真空操作・「真空よし」呼唱			1・2			勢等全般		1・2			
	火点正対姿勢・余裕ホース要領			1・2			安全管		理		1・3・5	
第1線延長	「放水始め」復唱・姿勢・時機		1・2		転倒	5×						
	放口開放・スロットル操作要領		1・2			器具愛護	踏みつけ		2×			
	送水圧力・適正圧力不適		1・3		蹴飛ばし		2×					
	注水方向変換時計器確認		1・2		投げつけ		2×					
第2線延長	「第2線延長」復唱・姿勢		1・2		落下		5×					
	筒先取外し・筒先を渡す要領		1・2		引きずり		2×					
	車前待機要領		1・2		落水		10×					
	第2放口移動時機・計器確認		1・2		エンスト		10×					
	火点正対姿勢・余裕ホース要領		1・2									

ポンプ車操法タイム表

消 防 団

タイム審査員氏名

種 別		基準タイム	測定タイム		平均タイム
ポンプ車	第 1 線	60 秒	第 1 測定者	秒	秒
			第 2 測定者	秒	
	第 2 線	65 秒	第 1 測定者	秒	秒
			第 2 測定者	秒	

倒的タイム

オーバータイム

第 1 線	秒	第 1 線	秒	合 計	秒
第 2 線	秒	第 2 線	秒		

減 点 合 計

点

※注意

- 1 測定タイムは小数点第 2 位までを測定し、記入する。
- 2 平均タイムは二人の測定タイムの合計を、2 で割って小数点第 2 位を四捨五入した数値を記入する。
- 3 倒的タイム欄には、平均タイムの小数点第 1 位を四捨五入した数値を記入する。
- 4 オーバータイムは、基準タイムと倒的タイムの差を記入する。倒的タイムが基準タイム内の場合、オーバータイムは 0 秒とする。
- 5 合計欄には、第 1 線と第 2 線のオーバータイムの合計を記入する。
- 6 減点欄には、合計タイム×2 点の数値を記入する。

測定基準

- 第 1 線は、指揮者の「操作始め」の号令による 4 番員の「よし」の「し」から標的が倒れた時までとする。
- 第 2 線は、指揮者の「第 2 線延長始め」の号令による 1 番員の「第 2 線延長始め」の復唱の「め」から標的が倒れた時までとする。

